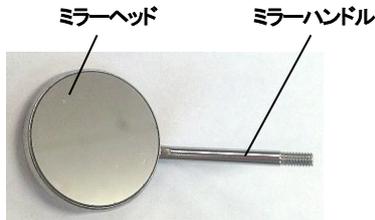


機械器具 25 医療用鏡
一般医療機器 歯鏡 JMDN 31776000

ピュアリフレクト ミラー

【形状・構造及び原理等】



種類: サイズ0、サイズ2、サイズ3、サイズ4、サイズ5

【使用目的又は効果】

本品は、口腔内診査又は圧排のために用いる歯科用器具である。

【使用方法等】

1. 歯鏡用ハンドルにミラーハンドルのネジ部を装着する。
2. 口腔外で、ゆるみやがたつき等異常がないか確認する。
3. 患者の口腔内で診査及び圧排に用いる。
4. 使用後は滅菌を施し保管する。
滅菌条件(例): オートクレーブ 135°C 20分

【使用上の注意】

** 表面のコーティングが損傷するおそれがあるため、超音波洗浄及び180°Cを超える高温下での滅菌処理を禁止とする。

1. 次亜塩素酸ナトリウム等の塩素系消毒剤、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、グルコン酸クロルヘキシジン、超酸化水(超酸性水)等の機能水、家庭用洗剤は金属腐食を起こす恐れがあるので、使用しないこと。
2. 使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないように、直ちに洗浄液等に浸漬すること。
3. 洗浄には、歯科用防錆洗浄剤を使用すること。
- ** 4. 薬液消毒を行う時は、薬剤の添付文書に書かれた使用上の注意を守ること。薬剤の種類によっては、金属素材に影響を及ぼすことがある。特に長時間の浸漬は避けること。
薬液消毒(例): 0.5%に希釈した脱塩水 5分
5. 洗浄、消毒、滅菌には精製水を使用すること。水道水を使用すると、塩素イオンの影響で鏡面曇りや金属腐食を起こすことがある。
- ** 6. 加熱滅菌器(オートクレーブ滅菌器など)の乾燥温度に注意すること。180°C以上の高温での乾燥により、鏡面曇りや器質が変質または変色することがある。
7. 洗浄、消毒、滅菌後の器具は水分を除去し、十分乾燥させてから保管すること。水分が付着したまま長時間放置すると、錆び、シミ等の原因となることがある。

8. 腐食(錆び)の原因となるので、洗浄の際、磨き粉や金属ウール・金ブラシを使用しないこと。
- ** 9. 器具の寿命を著しく低下させるので、粗雑な取扱いをしないこと。そのため洗浄は手洗いを推奨しているが、鏡面は強い力で圧迫すると破損するおそれがあるため、十分に気をつけること。
- ** 10. 粗雑な扱い(裏面の傷が多いなど)による破損は、保証の対象外となるため、注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

本製品は、直射日光とほこりを避けて冷暗所に保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及びお問い合わせ先

株式会社吉田製作所

お問い合わせ先

TEL : 03-3631-2204(海外事業部)

FAX : 03-3635-1060(海外事業部)

外国製造業者 : プロドントホリガー社 (アクテオングループ)

【PRODONT-HOLLIGER (A Company of Acteon Group)】フランス

販売業者

クロスフィールド株式会社

TEL : 03-5625-3306

FAX : 03-3635-1060

文書番号 FF 添 22-080